

トップ ▶ プレスリリース

[JASMIN MUSIC]

マルチプレイヤーのヒカルド・バセラル 日本人シンガーを迎えブラジル音楽を讃えるコンサート開催

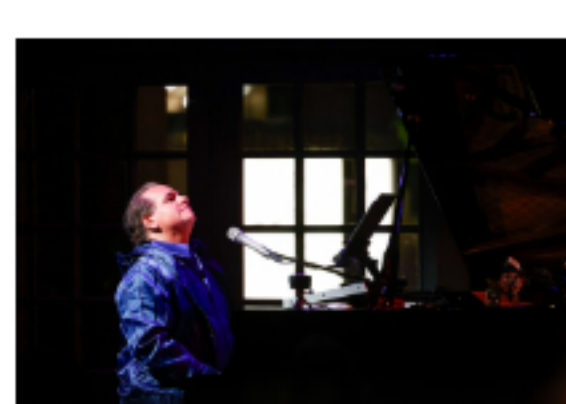
2024年07月13日

A+ 拡大



リリース発行企業: JASMIN MUSIC

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラル(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・プレイスで2夜連続公演を行った。



[画像1:

https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/4/127766-4-81f8f89ce18484c054e2c1e591d6b1c8-3900x2600.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff]ヒカルド・バセラル

[画像2:

https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/4/127766-4-39898de6bc96b7efdbe732ce1084ed35-3900x2046.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff]村田匠、ヒカルド・バセラル、マルキーニョス・ラモス

[画像3:

https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/4/127766-4-a31ee4b50002e39c2bd1581466efdee7-3900x2600.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff]ヒカルド・バセラル、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラル(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・プレイスで2夜連続公演を行った。1日目と2日目で異なるパフォーマンスを披露。バセラルは7月中旬まで日本ツアーを開催中で、13日は福岡、18日は鎌倉(神奈川県)での公演が予定されており、20日は再び東京でライブを行う。

ブルーノート・プレイスのステージでは、2日目の夜にインストゥルメンタル曲の「Fogueira」が演奏されたことが大きなサプライズとなった。同曲は、チェリストのジャキス・モレレンbaum(Jaques Morelenbaum)と共同制作したアルバムに収録される予定だ。

フォホーのリズムに、バセラルならではの特色を持つ楽曲で、ステージではマルキーニョス・ラモス(Marquinhos Ramos)と村田匠が出演しバンドイロを演奏した。

今回のツアーに同行しているバセラルの妻マノエラは、「ブラジル北東部にルーツを持つこの音楽を聞けば体が勝手に動き出してしまおう」と語った。

同じくインストゥルメンタル曲で、ブルーノートでの公演のために特別のアレンジで演奏された「Vila dos Passaros」も話題となった。世界が過酷な状況下にあったコロナ禍の最中に書かれたというこの作品の曲調には、聞く人を鼓舞し前向きな気持ちにさせる力がある。

歌手のマリアンジェラ(Mariangela)は、「Upa, Neginho」でバセラルと共に演。この公演には歌手の山田タマルも出演し、バセラルとともに「O Barquinho」を披露した。この曲は、バセラルに説得されたボサノヴァの巨匠ロベルト・メネスカル(Roberto Menescal)が歌ったバージョンが先日再リリースされている。

また、バセラルは日本へのオマージュとして、海外では「スキヤキ」の題名で知られる「上を向いて歩こう」をレパートリーに加え、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠とともに演奏した。

コンサートを鑑賞し日本人によるボサノヴァの演奏を楽しんだというセララジャパンのチアゴ・マルソン・フォンセカ代表は、「ブラジルの優れた音楽が、二つの文化の間を流れるように見事に演奏されるのを聴くことは、我々ブラジル人にとって素晴らしい経験となった」と述べた。

ブラジル音楽に関する書籍「ブラジル・インストゥルメンタル・ミュージック・ディスク・ガイド」の著者であるウィリー・ウーバー氏は、「5年半振りに来日したヒカルド・バセラル。ブルーノート・プレイスでは30分強の2セットという短めのステージだったが、ミルトンやエドゥ、ジル、ジョルジ・ベン、ベルキオールといったMPBスタンダード曲から、メネスカルのボサノヴァ曲、そしてオリジナルのフォホーまで、ブラジル色満載の内容となった。初顔合わせのゲスト・シンガー達とも上手く調和できたのはバセラルのセンスの良さだろう。次の機会にはじっくりと聴いてみたい」と語った。

第1夜は中原仁、第2夜は桜井芳次郎がミュージックセクター(DJ)を務めた。

コンサートの制作はトッピニキーム・エンターテインメントが担当した。

●7月13日(土)福岡

TIEMPO HALL

https://tiempohall.tiempo.jp

※詳細・チケット情報→ https://x.gd/PC2j4

●7月18日(木)鎌倉

JAZZ CLUB DAPHNE

https://www.jazz-daphne.jp

※詳細・チケット情報→ http://ptix.at/8S0K2v

●7月20日(土)東京

第17回ブラジルフェスティバル(代々木公園イベント広場)

https://festivalbrasil.jp/ja/

※入場無料 Free Live

Homepage shows: http://www.tupiniquim.net/

Youtube: https://www.youtube.com/@ricardo_bacelar

Instagram @ricardo_bacelar

Jasmin Music: https://jasminmus.com/

PR TIMESプレスリリース詳細へ

提供: PR TIMES

バックナンバー

【医療法人神甲会 隈病院】広報戦略について、どんなことでも相談... 2024年9月4日

「Cassette Week Japan 2024」第1弾アーティスト... 2024年9月4日

LivelyLife: 睡眠や運動状態が可視化できる次世代のスマー... 2024年9月4日

【ロエベ】第81回ベネチア国際映画祭でおこなわれた「Queer(... 2024年9月4日

トピックボード

マンション管理士が推奨するJS WITHとは

東電EP社長が語る「電力ニーズ変化への対応法」

ダイキンが「地球のエコ」である森を守る理由

「納得して選みたい」個人投資家層に品揃えて対応

10代から80代が集う「学びの場」で生まれる価値

「自動運転」見えている課題は、いったい何か？

トップページへ

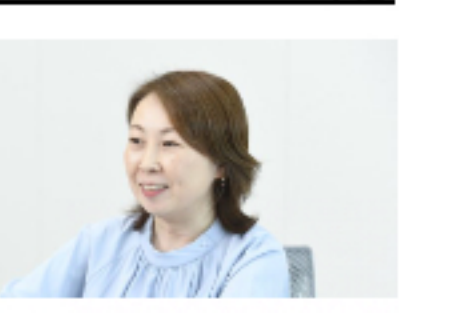
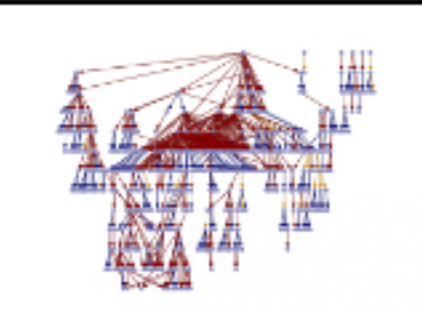
メルマガなど会員特典

連載一覧



▶▶▶ 連載一覧はこちら

トレンドライブラリー



「モビリティ開発の今後がわかるイベント開催」見えている課題は、いったい何か？

「モビリティ開発の今後がわかるイベント開催」見えている課題は、いったい何か？

多様な商品ラインナップと時宜をえた情報提供「投資家主権の確立」で資産運用の新時代をつくる

「モビリティ開発の今後がわかるイベント開催」見えている課題は、いったい何か？

多様な商品ラインナップと時宜をえた情報提供「投資家主権の確立」で資産運用の新時代をつくる

「モビリティ開発の今後がわかるイベント開催」見えている課題は、いったい何か？



NOVA AMAROK V6 Carregada de força bruta

会員記事アクセラランキング



Assine Agora

会員記事アクセラランキング

トレンドウォッチ

自社の数字で使える「原価動向分析シート」付き

Cápsulas de Café Japy Orfeu, Compatíveis...

週刊東洋経済の最新号

JEEP COMPASS 5 ANOS DE GARANTIA

東洋経済の書籍

東洋経済 education x ICT

Cápsulas de Café Japy Orfeu, Compatíveis...

JEEP COMPASS